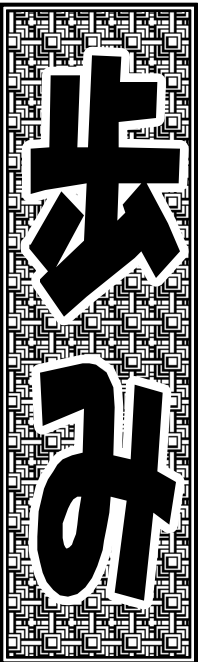


17 冬季一時金集団交渉 各社回答出揃う



集団統一交渉に臨む企業と組合員

2017.12.5
NO.615号
全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27
☎06-6574-8424
☎078-303-0800
全港湾は一人
でも入れます

要求提出

11月6日、大阪港湾労働者福祉センターにて冬季一時金第一回支部統一集団交渉が行われました。

冒頭、畠山委員長による情勢報告があり、トラックの隊列走行、大型トレーラーの2列運搬を承認する法律に変更していく今日の流れを説明し、問題点をあげた後、昨年実績以上の回答をもって20日の回答指定日には全分会が納得して対角線に降ろせるように誠意ある交渉に臨むよう各店社に

11月20日時点

大新運送	480,000円
日本コンテナ輸送	295,000円
菱倉運輸	1.9ヶ月
日本高速輸送	386,386円
三郵海陸運輸	564,836円
神陸コンテナ輸送	520,000円
大洋運輸	270,000円
サン・トランスポート	417,554円
神崎運輸	417,650円
五洋港運	400,000円+
内外フォーディング	543,126円+
天神運輸倉庫	521,194円
レックス	386,000円
日章トランス	348,164円
阪神コンテナビジネス	391,273円
国際コンテナ輸送	300,000円+
日本郵便輸送	1.9ヶ月
オーエスティ物流	2.25ヶ月
後藤回漕店	405,000円
シンケン	630,000円
ジャパンエクスプレス	565,496円
三井倉庫サプライ	1.8ヶ月
谷井運輸	816,333円
大阪海運	345,000円+
名阪船	350,000円
	457,778円

回答指定日

日興サービスは検数の請負行為の問題で、雇用形態を請負から派遣に変更したにもかかわらず、労働者に一切通知しないなどという港湾運送事業法を無視した違法行為を行っているの、組合はその問題を追及しました。



河野書記長による回答発表

え、会社へ誠意のある交渉を求めました。対角線に降ろせない企業が2社ありましたが、それ以外の企業は対角線交渉へと移行し、12月5日に行われる確認団交までに分会と十分に協議し、さらなる上積み企業を求めて第二回集団交渉を終えました。

求めました。次に河野書記長より要求書の詳細についての説明がありました。内外フォーディング分会は、会社が組合員の納得を得られないまま、制度として固まっていけない状況で査定による成果報酬を行なおうとしていることについて、怒りとたたかう姿勢を示しました。

同20日、第二回支部統一集団交渉が行われました。冒頭、畠山委員長より情勢報告がされ、続いて河野書記長から各企業の回答が発表されました。日本包装運輸分会は企業側から誠意のある回答が得られなかったとして、組合員は全員激怒しているということを伝

阪神支部2018年春闘討論集会「機関紙コンクール」

機関紙コンクールを開催します。作成している分会は奮ってご応募願います。
日程：2018年1月13日(土)～1月14日(日)
場所：神戸フルーツフラワー



どこの誰か知らないが、よくぞ言ってくれた。原発の高レベル放射性廃棄物を巡る意見交換会

で、男子学生が発言した。「参加すれば1万円もらえると友人から聞いた。金銭で動員をかけるのはおかしいのでは」経済産業省や原子力発電環境整備機構が核ごみの最終処分について広く意見を聞く場である。もちろん建設的な意見も交わされるが、さいたま市の会場で飛び出したこの発言には耳を疑った。意見交換会としての体裁を保つため、そのままでは参加者を集めているとは情けない。メディアの取材もある場所で堂々と指摘するには勇気も要っただろうが、暴いたものは大きい。懲りない面々が絶えないのはなぜだろう。小泉政権のタウンミーティングではやらせ質問が起き、九州電力ではやらせメールがあった。閻魔(えんま)さまが生前の行いを見極める基準が5つある。殺生、盗み、淫行、うそ、飲酒、である。目をカッと見開き、すさまじい形相で問い詰められるのだから、おっかない。うそと言いつつ、皮めくつてみれば、数々の「あれっ」が潜む。閻魔さまもさぞお疲れだろう。

第3回日検本部抗議行動 日検は港湾のルールを遵守し、 横暴な態度を改めよ！

第3回目となる日検抗議行動が、10月26日に東京築地の日検本部前で行われました。参加者は阪神支部河野書記長を筆頭に執行部9名、中央本部から真島書記長、東京支部から佐藤書記長、古田副委員長と東京支部組合員5名、名古屋支部から杉本委員長、西脇書記長、日興サービスマン分會を合わせて総勢22名で本部前に陣取りました。

25日の21時に大阪、神戸から地本宣伝カーを含め3台に分乗し、翌日6時に東京支部に到着。合流して現地に真島書記長、名古屋支部と結集して9時には日検本部に抗議及び申し入れ文書を手渡すべく代表者4名で館内に入りましたが、あるところか日検側は「受け取る理由がない」「全国港湾でも理解を得ている」として受け取りを拒否したことにより紛糾した挙句、なんと警察に通報をしまし程なくして警



日検本部前での抗議行動

えました。この闘争は今後法廷闘争にも発展して行きますが、同時に全国の仲間と共に抗議行動も並行して旺盛に続

中央海コン・トラック・バス合同会議 物流業界の強化に向けた 運動方針の確立へ

10月31日・11月1日両日に横浜ナビオスにおいて中央海コン・トラック・バス合同会議が中央執行部より、諸見書記次長・畠山中執・新妻中執と特別中執の松谷氏と各地本から24名の参加で行われました。

31日には国交省物流政策課の平野氏より「総合物流大綱」について、今後3年間の概要を説明され、続いて本年11月4日から施工される「標準貨物自動車運送約款の改正」について国交省貨物課総括補佐の橋本氏より概要について説明を受けました。

その後、二つの議題についての質疑では、荷主勧告強化は有り難い。認可料金制度につなげてほしい。トラック業界は3次下請けなど重層構造となっているので、元請と話が出来ていた下請け業者はどつなるのか等の意見が多数出ました。

翌2日目は現在の交運労働協会の取り組み等、松谷氏より報告を受け、各地方の現

トラック・海コン部会学習会 適正な運賃・料金の收受で 運送業界に人材の確保を

支部トラック・海コン部会は11月10日、大阪府トラック協会専務理事の滝口啓介氏を講師に迎え、メインテーマを「トラック業界の現状」と題し、政府における物流施策や物流行政を示し、関係省庁が連携して総合的・一体的な物流施策の推進を図る「総合物流施策大綱(2017年・2020年)」をどうみるか。また、運送の対価としての「運賃」及び運送以外の役割などの対価としての「料金」を適正に收受できる環境を整備する「標準貨物自動車運送約款改正(11月4日施行)」を解説する学習会を地本第2会議室で開催し、執行部・分会合わせて18名が参加しました。

滝口氏は冒頭で深刻な人員不足に陥っているトラック業界として、大阪府の協力もあり求人セミナーを開催するが、物流業あるいは、ドライバーの担い手がおらず、いかに人材を確保し、育成していくのか、困難な現状を切実に話されました。

また、日本のあらゆる産業の労働力不足を背景とした中で、IT(モノのインターネット)、BD(ビ

続き、2017年度運動方針の補強を検討して2018年度要請行動と内容について、各地方に持ち帰り検討し、年頭の中央委員会でまとめ、5月に中央海コン・トラック・バス部会として本省での要請行動をしたいと中執より提案があり、各地本に持ち帰ることになりました。

最後には、第88回定期全国大会で質疑があった3項目について議論し、中央海コン・トラック・バス合同会議を終えました。

副委員長 松本 栄一

参加者からの質問では、荷主との関係から運賃料金の收受の実効性について疑問視する声や、改善基準告示違反が多く、トラック業

とされている運送業界で生産性向上を求められると、今以上に劣悪な環境に拍車をかけるのではないかなどの意見があがり、まだまだ不十分であるものの国が主導したことは、小さいけれど大きな一歩で、国と荷主、トラック事業者が連携し、国民に対し、人材の確保・育成、物流への理解を深めるための啓発活動が必要になってくると締めくくりました。

講師と参加者で多岐にわたる活発な議論を行いました。執行委員 鈴木 大介



講師と参加者で多岐にわたる活発な議論を展開

大阪港湾労働組合協議会60周年記念式典

歴史と伝統の60年を

これからの運動と発展につなげる

10月27日、ホテル大阪ベ
イタワーにおいて大阪港湾
労働組合協議会(以下、大
港労協)の60周年記念式典
が開催され、阪神支部から
16名が参加しました。

全国港湾の系谷委員長や
大阪港湾協会の溝江会長ら
から60周年を祝つ挨拶がさ
れ、大港労協の小嶋議長の
挨拶では、「結成以来、結
集する仲間と共に『港湾労
働者の社会的地位の確立』
のため、コンテナ闘争、日
曜完休闘争、港湾年金闘
争、フェリー闘争などの港

湾労働者の地位の向上のた
めのたたかいを構築してき
ました。1976年の全国
港湾年金闘争は大阪港では
トラックの通行ピケ、各埠
頭での荷役阻止などで逮捕
者が出る大闘争が繰り広げ
られた結果、年11万6千円
(当時)の年金額を勝ち取
り、現在の港湾年金の基礎
が出来上がりました。その
後、港湾の大きな転機が2
000年の規制緩和です。

これを機に日本の港湾労働
者の労働条件の切り下げが
始まりました。この規制緩
和から17年の間、諸先輩方
が築き上げてきた労働条件
の維持も厳しくなる時世で
はありますが、大港労協は
全国の仲間と共に今後も数
々の問題に対し立ち向かい
たたかう」と決意を声高ら
かに述べられました。

参加者全体も小嶋議長の
大きな決意に賛同し、60年
の歴史と伝統を誇り、これ
からの新たな運動の発展と
更なる飛躍につなげること
を確認した盛大な記念式典
となりました。

書記次長 久保田 稔

「平和」を考える

南京大虐殺から80年

負の歴史を心に刻む

日中全面戦争の火ぶたが
切られ、日本軍が南京大虐
殺を引き起こしてから、今
年で80年になります。旧日
本軍による数多くの不法・
残虐行為のなかでも世界的
によく知られているだけ
に、矮小化(わいしょうか)
意味…こじんまり小さくす
ること)したり否定したり
する主張が根強くありま
す。南京大虐殺事件とは何
だったのか、改めて考えて
みましょう。1937年12
月の南京大虐殺事件に至る

歴史を振り返ってみます。
1931年の柳条溝(り
ゅうじょうこう)事件(満
州事変)で関東軍が自ら満
鉄線路を爆破し中国軍が爆
破したとして総攻撃を闘
始、日本はこれを機に、本
格的な中国侵略戦争に突入
しました。翌年、中国東北
部に日本の傀儡(かいらい)
として「満州国」を建国
国際的批判を浴びるなか、
1933年3月27日、日本
は国際連盟を脱退します。

ランブ大統領でした。
大統領の発言に続いて首
相も、具体的な兵器名を挙
げ、「米国からさらに購入
していく」と答えました。
大統領が首相に代わって日
本は米国から大量の兵器を
購入すると答え、首相が追
認するという異様な光景で
した。

1937年7月7日、北
入する方法である「対外有
償軍事援助(FMS)」に
よるものです。FMSは兵
器製造企業や商社ではな
く、米政府と取引します。
契約価格は米政府の見積も
りで、支払いは前払いで
は明らかです。

主張

暮らしと平和を犠牲にして 突き進む戦争をする国造り

年末の18年度政府予算案
の編成に向けた動きが本格
化しています。焦点の一つ
は、第2次安倍政権発足後
の13年度から5年連続増え
てきた軍事費です。17年度
は過去最大の5兆1251
億円に達しています。18年
度概算要求ではさらに増額
し、5兆2551億円を計
上しています。その特徴
は、自衛隊の海外派兵と米
軍との共同作戦を拡大・強
化する戦力の増強とともに
に、兵器の調達も米政府か
らの購入額が大きく増えて
いることです。対米従属を
深め、国民の暮らしを圧迫

た。ところが、その質問に
割って入り「重要なのは日
本の首相が(米国から)軍
事装備品を大量に購入しよ
うとしていることだ。われ
われは最高の装備品を生産
している」と答えたのはト

購入すると答え、首相が追
認するという異様な光景で
した。
18年度概算要求でも兵器
への予算が計上されていま
す。その多くが米国から機
密性の高い最新鋭兵器を購

す。契約後に価格が高騰し
たり、納期が遅れたりする
ことも珍しくありません。
FMSの予算額も5年間
で急増し、13年度当初予算
で1179億円だったのに
対し、18年度は4804億

京郊外での慮溝橋(るぎよ
うこう)事件を機に日中全
面戦争へ。日本軍は8月、
上海へ侵攻し、近衛首相は
「南京政府を断固懲らしめ
る」と声明。当時首都だっ
た南京への空爆を開始。
9月28日、国際連盟総会
は日本の中国都市爆撃への
非難決議を採択しました。
上海で苦戦していた日本
軍は11月5日、杭州湾から
も攻め入り、上海の中国軍
が撤退し始めると現地の日
本陸軍第10軍が南京へ追撃
戦を行うと独断で決定。天
皇、近衛内閣はこれを追認
しました。

現在、「特定秘密保護
法」「集団的自衛権」「共
謀罪」「9条改憲」などが
強行的に押し進められてい
ますが、当時はこういった
悪法が当たり前前の事であ
り、国民の知る権利や生活
を守る権利が皆無といった
時代でした。
私たちはこの国に同じ轍
を踏ませないために、真の
平和と国際友好のために
南京大虐殺など日本の負の
歴史的事実を胸に刻む必要
があります。

9条改憲を許さない！ 11・3 大阪総がかり集会

11月3日、中之島公園芝生広場において、9条改憲を許さない！11・3おおさか総がかり集会が行われ、約2万人が集まり、阪神支部からは14名が参加しました。



2万人による大コール

はじめに、「戦争させない1000人委員会大阪」の米田彰男共同代表が主催者挨拶をし、「9条改憲反対統一署名の3000万目標達成へ、大きく運動を組織していこう」と呼びかけま

した。

各分野からの発言では、「今回の総選挙で、国会の議席数で改憲勢力を3分の2未満に追い込むという目標は残念ながら実現できませんでした。しかし、議席数での与党の圧勝は、小選挙区制という非民主的な選挙制度によるものであり、議席数が直ちに国民の意思を反映するものではない。引き続き憲法をこわす安倍政治を終わらせ、平和と命と人権を大切にすることを求め、さらに運動を大きく前進させよう」と訴えがあり、2万人の参加者がコールに合わせて一斉に「憲法こわすな」「戦争アカン！」のプラカードを力強く突き上げました。集会後は3コースに分かれてパレードを行いました。

執行委員 廣渡 信次

戸 憲法集会

憲法を守り、立憲主義を守る 武力によらない平和を



戦争に対する沖縄の心を歌にのせる

11月3日、神戸市立西区民センターに於いて「神戸憲法集会」が行われ、会場が満員となる500名を超える人が集いました。

はじめに文化行事として「ゆがふバンド」による沖縄の歌が披露されました。沖縄の歌は陽気で華やかに響きますが、戦後の悲しみを音楽や歌で表現し、それでも前を向いていこうという希望が込められています。講演は2部制で行われ、

兵庫県原水協事務局長の梶本修史さんからは核禁止条約が採択されたことで新しい歴史の扉が開かれたことと、唯一の被爆国である日本が条約への参加を棄権していることに対する国民的運動を呼びかけられました。次に「今、憲法9条を守ることの意義」と題され、東京慈恵会医科大学の小沢隆一教授による講演が行われました。先の総選挙で改憲派の勝利となりまして、安倍政権による改憲は、戦争をしたいアメリカとそこに追従する日本のために行われます。しかし、選挙で投じられた1600万人の護憲派の票を無視させてはいけません。安倍政権の改憲改憲や、加憲による9条の無力化、戦争法の有効化に対して、今の憲法を守り、立憲主義を守る運

動の展開が呼びかけられました。武力による平和への改憲ではなく、武力によらない

平和を望み守っていく私たちのたたかいと運動が求められています。

執行委員 道下 拓也

し、好評を得ました。今年のテーマは「安全な食料は日本の大地から競争への道・安倍政権の暴走ストップ！TPP批准阻止」であり、私たちが考えを一緒にするところもあり、来年以降も参加、交流していきたいと思えます。

神戸ブロック 脇坂光一

カマヤん ヘルパーさん ありむら港



11月12日、神戸市西区の西神高塚公園で行われた第23回兵庫収穫祭。全体で2300名が参加、阪神支部からは執行部11名、神戸ブロック7名、青年部8名、また多くの組合員とその家族が参加しました。



好評を得たフランクフルトの販売

収穫祭は阪神大震災からの復興をテーマに始まり、今年で23回目を迎えたイベントです。なかでも目玉は農家の方々が販売される安価で新鮮な無農薬野菜で、農民連加西の大根などは開

会と同時に売り切れてしまっただけの人気のです。また、屋台も多くなり、出店しており、炊き立てごはんや作ったおにぎりやたこ焼き、唐揚げ、ラーメン、大福餅などの屋台がありました。

私たちがもフランクフルト(神戸ブロック)とスーパースポール(青年部)を出店

分かるかな？

懸賞クイズ

【問題】
この漢字、何と読む
融

613号の回答 「0歳」
10名の方から応募があり、4人が正解でした。

614号の回答 「D」
11人からの応募があり抽選の結果、5人の方に図書カードを進呈します。

【613号】
峯本新菜・鶴井知輝・柳田彩加・松林美琴 (ジャパンEXP)

【614号】
井上雅子(内外フォーディング)、松井謙一(三林)、玉代勢秀矢(全日検神戸)、丸山みちる・内藤孝二(新神戸シティ)

615号の締め切り日は、12月13日(水)です。次回はQ.U.Oカードを進呈します。ふるってご応募ください。